

上高地周辺と北海道のみ分布する希少樹種

上高地ケシヨウヤナギ希少個体群保護林

設定目的

ケシヨウヤナギは昭和三年に我が国で最初に発見された、国内では上高地及び梓川^{あすさがわ}下流、北海道にのみ分布する樹種です。

ケシヨウヤナギの群落とともに、更新が可能な氾濫原となる砂礫地の保護を目的としています。

地況・林況

当保護林は、上高地を流れる梓川本流の明神橋から徳沢の間に位置しています。

群落が生育する砂礫地にはケシヨウヤナギの稚樹や大木が生育しており、ヤマハンノキを主体にヤマザクラ、シナノキ、ウラジロモミ、ハルニレ等が混交する天然林となっています。



所在地
長野県松本市



国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。



※詳細は、コードを読み込んでください。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612